



00万円の補助。

⑥ 医療現場への支援として800万円。内容は、一般の医療機関、診療所、歯科、計40カ所に対して、20万円の給付。

⑦ 医療介護福祉施設等への支援として689万6,000円。内容は、医療機関の職員、歯科職員、障がい・介護事業所の職員、薬局の従業員、合計1,724人に対する一人当たり100枚のマスク配布。

その他の事業も含めて全17項目に支出する予定となっている。

市 農地については年度内に完了する見込みである。

農業用施設のため池については、一部、来年度以降の復旧になる可能性がある。

議員 今年作付できなかった農地の復旧時期を問う。

令和元年東日本台風によって被災し、今年作付けが出来なかった耕作者に対して、令和3年に作付けすることを条件として、10アールあたり2万円を給付するもの。

主に山上、和田地区を中心として、65ヘクタール分を計上している。

今年作付出来なかった 耕作者へ給付金を支給

※国民健康保険特別会計については討論がありました。討論内容については次のページで掲載しています。

要になるが、税負担等を考慮し、基金を取り崩すことで税率を8%に抑えている。

市 当初予算と比較して、5,700万円の減収が見込まれる状況である。5,700万円すべてを税収で確保するとすれば、約10%程度の税率引き上げが必要になるが、税負担等を考慮し、基金を取り崩すことで税率を8%に抑えている。

議員 税率8%引き上げた内容について問う。

傷病手当金の創設等に伴い 国民健康保険特別会計を補正

国民健康保険税の算定及び新型コロナウイルス感染症にかかる傷病手当金の創設に伴うもの。



補正予算の主なもの

追加額	内容
1億3,580万5,000円	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金
1,300万円	被災田支援給付事業
240万円	国民健康保険税率の改正 及び傷病手当金の創設

正算 補予

新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金等の追加補正予算を議決

新型コロナウイルス感染症

対策として17項目の事業に支出

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として、地域の実情に応じた事業の実施のため国から交付されるもの。
- 活用方法の主なものは、
- ① 市役所庁舎内の感染予防として210万4,000円。内容は消毒用アルコール、ビニールシート、アクリル飛沫防止パネル、非接触型体温計等の購入。
 - ② 各施設の非接触型体温計購入費として56万7,000円。設置箇所は、歴史資料収蔵館、スポーツアリーナさうま、光陽パークゴルフ場、公民館等。
 - ③ 避難所の感染防止対策として690万5,000円。内容は、仕切り用段ボール、アクリル板パーティション、受付用アルコール消毒液等の購入。
 - ④ 小中学校での対策として272万3,000円。内容は、非接触型体温計125個の購入。
 - ⑤ 市内経済対策で8,160万円。内容は、宿泊業、飲食店、タクシー業、運転代行業に対して一律30万円の給付及び中小企業への支援として相馬商工会議所に2,600万円の補助。